

1. 解決したい課題の内容について

宇佐市ふるさと応援寄附金（ふるさと納税）は目標額 10 億円を掲げ、約 900 品目の返礼品を登録し、令和 4 年度は 608,239 千円、令和 5 年度は 669,798 千円と寄附額を伸ばしているが、全国的な返礼品競争から目標額の到達は厳しい状況である。

近年のふるさと納税の寄附者が返礼品を選ぶ傾向として、贈答品や高額品といったものから節約志向により雑貨・日用品が人気となっているため、現在、本市の主力返礼品は焼酎などの酒類とシャインマスカット等の果物類で寄附額の約 75% を占めているが、更に寄附額を伸ばすためには寄附者が希望する返礼品を在庫が不足することなく、年間を通じて提供できる魅力的な特産品開発が必要である。

本市へのふるさと応援寄附金は、寄附募集や返礼品等に係る経費を除いた額を「宇佐市ふるさと応援基金」に積立て、人材育成を目的とした学校給食無償化事業や地域住民自らが地域課題解決するための地域コミュニティ活動支援交付金として活用しており、寄附額が増えれば更に地方創生や地域の活性化に大きく貢献することができる。

2. 実現したい目標について

【宇佐市ふるさと応援寄附金目標額 10 億円】

「宇佐市ふるさと応援寄附金 10 億円達成プラン」においては、令和 4 年度に 6 億円、令和 5 年度に 8 億円、令和 6 年度に 10 億円の到達目標を設定している。しかし令和 5 年度の寄附実績の状況から令和 6 年度の目標額を 8 億円に変更しているが、最終的にはプランを見直し、寄附目標額 10 億円に向けて今後の対応を検討している状況である。

寄附額から経費を除いた額を積立している「宇佐市ふるさと応援基金」は、主に学校給食無償化事業や保育所無償化事業に活用することで、若者世代が子育てしやすい環境づくりに繋げるとともに少子高齢化対策や地域活性化対策にも活用を広げていく。

【過去 3 年寄附額実績】

令和 3 年度	472,874 千円	(前年比 176.7%	+ 205,369 千円)
令和 4 年度	608,239 千円	(前年比 128.6%	+ 135,364 千円)
令和 5 年度	669,798 千円	(前年比 110.1%	+ 61,559 千円)

【主なふるさと応援基金活用事業】

学校給食無償化事業、小中学校図書購入、小学校遊具更新事業、「うさ暮らし」移住満足度 100% 事業、中小企業資金融資利子補助事業、新コミュニティ形成推進費、花いっぱい運動事業費など

3. 必要とする技術について

国へふるさと納税返礼品として登録する要件として大きく 12 種に分類される地場産品基準に適合する必要がある。

【主な地場産品基準】

1. 区域内において生産されたもの
2. 区域内において返礼品等の原材料の主要な部分が生産されたもの
3. 返礼品等の製造、加工その他の工程のうち主要な部分を行うことにより相応の付加価値が生じているもの

4. 想定する実証実験（内容・希望時期等）について

- ・宇佐市の産物を活用した魅力的な製品の開発、製造、加工
- ・生産の主要工程を宇佐市で行うことの費用対効果実験
- ・既存製品等の効果的な PR 方法の実験

5. 協力者、実証実験の場所等について

LR 株式会社：市とふるさと納税に係るウェブサイトの改善や返礼品撮影、返礼品等改善提案や在庫管理を行う全般的な業務委託を締結している。

6. 課題に関連する事業のホームページ URL

総務省ふるさと納税ポータルサイト

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_zeisei/czaisei/czaisei_seido/080430_2_kojin.html

令和 5 年度ふるさと応援寄附金活用実績

https://www.city.usa.oita.jp/sougo/soshiki/10/machizukurisuishinka/2/1_1/21419.html